

JIS Z 3410/WES 8103 による 溶接管理技術者（WES1級、2級）認証取得のための研修会

（一社）日本溶接協会による平成30年度前期の「溶接管理技術者資格認証基準による評価試験」は、学科試験及び口述試験が6月に予定されています（*）。

当センターでは、この評価試験対策として『溶接管理技術者認証研修会（WES1級・2級コース）』を開催致します。本研修会では、各溶接技術分野の第一人者の講師が1級および2級の資格を取得するのに必要な技術内容を解説すると共に、問題集による演習に力点を置いて実施しております。ご希望の方はお申し込みください。

※ 日程の確定および評価試験の詳細は、認証機関である（一社）日本溶接協会のホームページに案内されています。

なお、当センターは、溶接管理技術者（WES8103最新版による）の受験のための研修会の実施機関として承認されており（1級承認番号：ATC-002-1、2級承認番号：ATC-002-2）、本講習会の修了証取得者は評価試験のうち口述試験が原則として免除されています。（2年間有効）

★ コース設定・日時と講座内容（（一社）日本溶接協会の研修会と同等の内容です）

【1級コース】 H30.4.10 ~ H30.4.13 初日受付9:10~9:30

日程	時間	講座内容
4/10 (火)	9:30~16:30	各溶接法および溶接機器
4/11 (水)	9:30~16:30	金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性
	16:30~17:00	ガイダンス（試験要領について） （事務局）
4/12 (木)	9:30~16:30	溶接構造の力学と設計
4/13 (金)	9:30~16:30	溶接構造物の品質マネジメントと溶接施工管理等

注

1級及び2級の受験資格は別添「WES8103-2016抜粋」により確認の上、コースを選定して下さい

【2級コース】 H30.4.10 ~ H30.4.12 初日受付9:40~10:00

日程	時間	講座内容
4/10 (火)	10:00~16:00	金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性
	16:00~16:30	ガイダンス（試験要領について） （事務局）
4/11 (水)	9:00~13:15	溶接法および溶接機器
	14:15~18:30	溶接構造の力学と設計
4/12 (木)	9:30~16:30	溶接施工・管理

※研修会受講者が5名に達しない場合は中止になる場合があります。

★ 場 所 （一財）日本溶接技術センター 講義室（別添地図参照）

★ 受講費用 1級コース 51,840 円 （消費税及び演習資料代金含む）
 2級コース 41,040 円 （消費税及び演習資料代金含む）

★テキスト等 別添の申込書で事前送付を希望する者に対しては、送料着払で送らせていただきます。

1級用： 「溶接・接合技術総論」 3版第1刷発行（産報出版） 9,180 円

2級用： 「[新版]溶接・接合技術入門」 6版第3刷発行（産報出版） 4,011 円

※研修会では使用しませんが、各級の問題集「筆記試験問題と解答例」も販売しております。

必要な方は申込書にてお申し込みください。（1級用：2,057円、2級用：1,852円）

★ 申込方法

別添の申込み書に受講料を添えて、講座開始日の5日前までに現金書留または銀行振り込みの何れかの方法で申し込み下さい。

（りそな銀行（銀行番号0010）／川崎支店（支店番号631）当座預金No.413442 サイエホソウツギジュツセンター）

★ 特典

研修修了者には、（一社）日本溶接協会のホームページに掲載されているe-bookを閲覧することが可能となります。WES2級用電子化教材（e-book）の内容は、溶接管理技術者資格試験（WES2級相当）に対応した演習問題とその解説が掲載されており、事前の学習に役立てることが可能です。

「溶接管理技術者の認証基準」抜粋

4. 溶接管理技術者の認証等級

- 4.1 溶接管理技術者の認証等級（以下、等級という）は、この規格に定める審査及び評価試験により決定する。
 4.2 等級は、溶接管理技術者の任務及び責任、並びに技術知識及び職務能力に基づいてそれぞれ特別級、1級及び2級とする（表1参照）。

表1 溶接管理技術者の任務及び責任、並びに技術知識及び職務能力

等級	責 務	知識及び職務能力
特別級	JISZ3410 (ISO14731) の本体4.1及び4.2,並びに附属書Bに記載された事項に基づいて製造事業者から割り当てられた任務と責任を果たさなければならない。	JISZ3410 (ISO14731) の本体6.1及び6.2a)に記載された技術知識をもち、かつ、溶接技術に関する包括的技術知識と経験、及び施工、管理などに関する統括職務能力を保有していなければならない。
1 級		JISZ3410 (ISO14731) の本体6.1及び6.2b)に記載された技術知識をもち、かつ、溶接技術に関する特定技術知識と経験、及び施工、管理などに関する専門職務能力を保有していなければならない。
2 級		JISZ3410 (ISO14731) の本体6.1及び6.2c)に記載された技術知識をもち、かつ、溶接技術に関する基礎技術知識と経験、及び溶接施工、管理などに関する基本職務能力を保有していなければならない。

注) JISZ3410では、製造事業者による溶接管理技術者の任務と責任の割り当てに際して、6.1「すべての溶接管理技術者に対する一般知識の要求事項」において、全般的な技術知識及び専門技術知識が考慮されること、6.2「責任を負うべき溶接管理技術者に対する特定知識の要求事項」において、製作物の特性及び／又は複雑度に応じて、溶接管理技術者の有する技術知識はa)包括的、b)特定、及びc)基礎の3レベルであることを考慮するとしている。

5. 受験条件及び受験条件の審査

- 5.1 受験条件 申請者は、それぞれ表2に示す条件に該当する職務経験を有していなければならない。

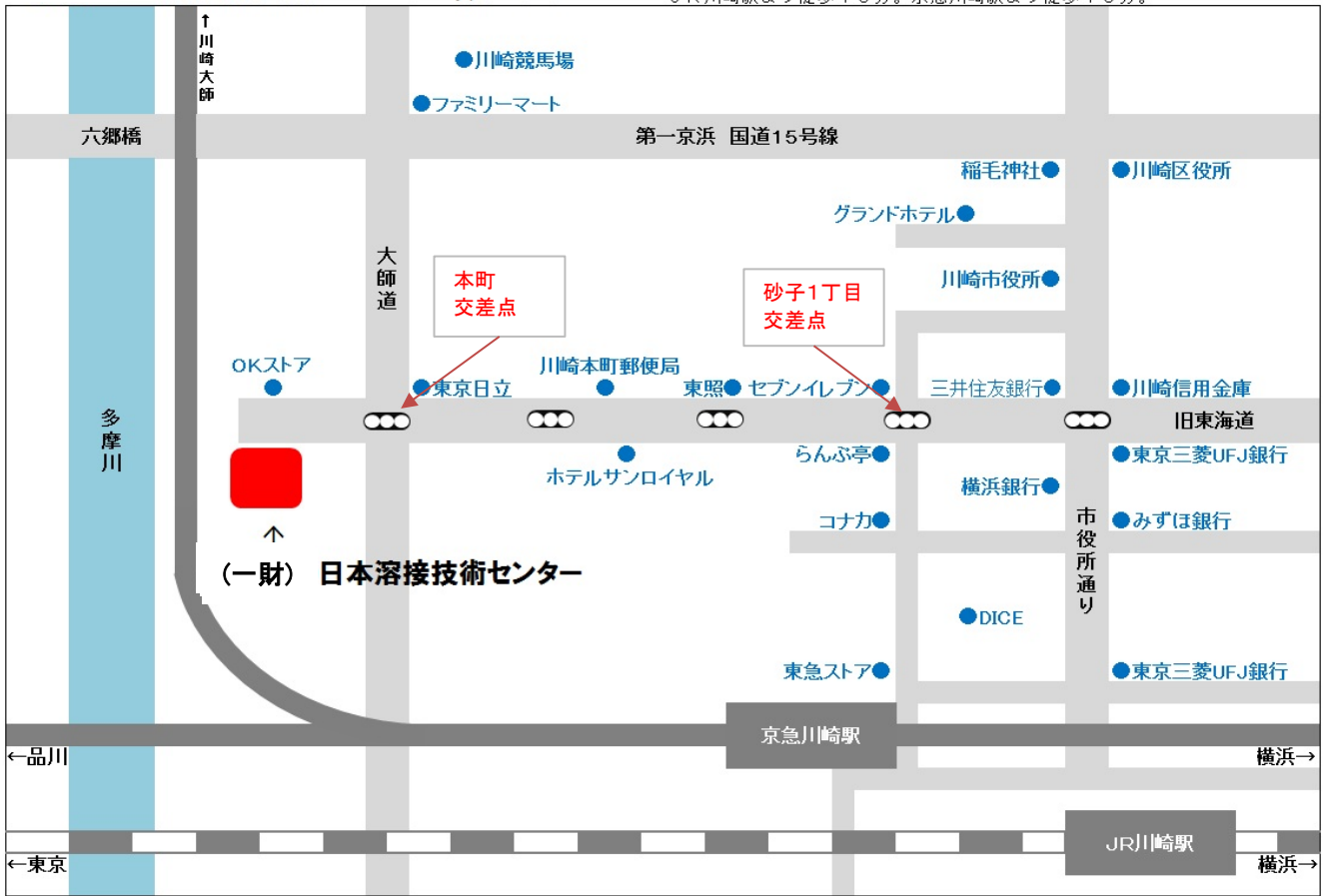
表2 受験条件

学歴又は認証	等級別の必要職務経験年数		
	特別級	1 級	2 級
① 大学院卒業者（理工系溶接専修）	1	1	1
② 大学院卒業者（理工系）	2	1	1
③ 大学院卒業者（理工系以外）	5	3	1
④ 大学卒業者（理工系溶接専修）	1	1	1
⑤ 大学卒業者（理工系）	3	2	1
⑥ 大学卒業者（理工系以外）	6	4	2
⑦ 短期大学卒業者（理工系溶接専修）	5	3	1
⑧ 短期大学卒業者（理工系）	6	4	1
⑨ 短期大学卒業者（理工系以外）	10	7	4
⑩ 工業高等専門学校卒業者	6	4	1
⑪ 理工系各種専門学校卒業者	-	6	2
⑫ 工業高等学校卒業者	-	7	2
⑬ 工業高等学校以外の高等学校卒業者	-	8	4
⑭ 上記学歴によらない場合	-	-	7
⑮ 1級認証者	3	-	-
⑯ 2級認証者	-	3	-

- 備考
1. 表中の経験年数は最小限の必要年数を示す。
 2. 経験年数は溶接技術に関連した職務に専従した期間とし、専従でない場合は職務の実体に応じて査定する。
 3. 経験年数は、学歴については卒業後、認証については認証取得後の年数とする。
 4. ⑤の大学卒業者（理工系）は工業高等専門学校専攻科卒業者を含む。
 5. ⑩の理工系各種専門学校卒業者は、高等学校以上の学歴を有している場合に認められる。

(一財) 日本溶接技術センター案内図

駐車場はありません。JR・京急をご利用ください。
JR川崎駅より徒歩15分。京急川崎駅より徒歩10分。



住所 〒210-0001 川崎市川崎区本町2丁目11番19号
(TEL:044-222-4102、 FAX:044-233-7976)

『溶接管理技術者認証研修会』申込書

〈送金内訳〉

下記、○印を付けてください

- コースの選択： 1級コース 2級コース
 テキストの購入： 購入する 購入しない
 筆記試験問題と解答例： 購入する 購入しない
 テキスト等の事前送付（着払い）： 希望する 希望しない

フリガナ

氏名 _____ 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

所属 _____ 住所 〒 _____
 (企業名等) TEL: _____ FAX: _____

フリガナ

連絡先 _____ TEL: _____

受講料	円
テキスト代金	円
問題集代金	円
合計	円

(送金方法)

現金・振込

(送金予定日)

年 月 日

請求書： 要・不要

(注) コース開始7日前までにご希望の場合、テキスト等の事前送付(送料：着払い)を致します。
それ以降の受付は講座開始当日にテキスト等(受講券を含む)を会場でお渡しします。